



松竹大谷図書館

SHOCHIKU
OTANI
LIBRARY

令和7年3月10日発行

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館

ニューズレター

No. 323(2025年3-4月)

■三月歌舞伎座にて組上燈籠絵「忠臣蔵討入組上五枚続」展示開催中！

歌舞伎座「三月大歌舞伎」通し狂言『仮名手本忠臣蔵』の上演にちなみ、歌舞伎座2階ロビーでは、当館所蔵資料の組上燈籠絵「忠臣蔵討入組上五枚続」完成形を展示しております。

こちらは大正2（1913）年に発行された組上燈籠絵『仮名手本忠臣蔵』です。十一段目にあたる四十七士が吉良邸に討入る場面ですが、実際に歌舞伎で上演された舞台ではなく、出版当時の人気俳優を配して描いた「見立て」であると考えられます。また、組上に記された役名は、歌舞伎演目の『仮名手本忠臣蔵』とは異なり、義士の実名となっています。

左側は、吉良上野介の付き人で剣豪の清水一角と赤穂浪士たちの激しい立ち回りをみせる「奥庭泉水」の場、右側は炭部屋に隠れていた上野介を引き出し、本懐を遂げる「炭部屋」の場です。

歌舞伎座ご観劇の際は、ぜひお近くをご覧ください！

「組上燈籠絵」は江戸期から昭和期まで流行したおもちゃ絵といわれる錦絵の一種で、絵の中の部品（パーツ）を切り出して貼り付け、立体に組み立てて遊ぶものです。松竹大谷図書館では、組上燈籠絵を161点所蔵しており、HP内のデジタルアーカイブでご覧いただくことができます。こちらの「忠臣蔵討入組上五枚続」も検索閲覧システムでご覧いただけますので、ぜひ[キーワード]に「忠臣蔵」と入力して検索してみてください！



松竹大谷図書館ホームページ デジタルアーカイブはこちら
<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/digital-archive/>

目次:

三月歌舞伎座で組上燈籠絵「忠臣蔵討入組上五枚続」展示開催中！	1
講演会「デジタルアーカイブで竹本床本を読む」のお知らせ	2
2月資料紹介「今月の芝居から」	2
松竹大谷図書館デジタルアーカイブを活用した松竹創業百三十周年歌舞伎座チラシ	3
所蔵資料紹介 [18]-『仮名手本忠臣蔵』台本・プログラムー	3
新着資料案内	4
新規登録資料案内	5
資料提供	5
新たに資料をご寄贈くださった方々	5
令和六年度 第53回「大谷竹次郎賞」に関してのご報告	5
公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	6
春期休館のお知らせ	6
松竹大谷図書館へのご来館に関しましてのお願い	6
利用案内	6



<夢の配役 見立て>

- 神崎与五郎：尾上菊五郎 [六代目]
- 竹林只七：中村吉右衛門 [初代]
- 間重次郎：市川左團次 [二代目]
- 大石内蔵之助：中村歌右衛門 [五代目]
- 吉良上野：市川段四郎 [二代目]
- 清水一角：市川八百蔵 [七代目]
- 堀部安兵衛：松本幸四郎 [七代目]
- 赤垣源蔵：沢村宗十郎 [七代目]

■講演会「デジタルアーカイブで竹本床本を読む」のお知らせ

本の森ちゅうおう（京橋図書館）にて、当館所蔵の竹本床本を紹介する講演会が開催されます。

松竹大谷図書館が所蔵する伝承上重要な文献とされる竹本床本が、昨年10月18日にデジタルアーカイブとして一般公開されたことを記念し、実演家の竹本葵太夫氏と当館主任司書武藤祥子が、竹本床本をテーマにお話しをします。床本とは、歌舞伎の義太夫狂言などで、浄瑠璃を語る竹本の太夫が舞台上で使用する台本のことです。この講座では、3月歌舞伎座公演『通し狂言 仮名手本忠臣蔵 四段目』に出演中の竹本葵太夫氏に、「忠臣蔵」の「判官切腹」を例に床本についてお話しいただき、歌舞伎の義太夫狂言の世界にご案内します。



デジタルアーカイブをご覧になる竹本葵太夫氏



デジタルアーカイブより 忠臣蔵 鶴ヶ岡の場
竹本鏡太夫床本

日時: 2025年3月22日(土)午後6時～8時(午後5時30分開場)
会場: 本の森ちゅうおう(京橋図書館) 1階多目的ホール
定員: 80名《事前予約制/先着順・中学生以上》※定員に達し次第、受け付けを終了
申込方法: 2月22日(土)午前9時から京橋図書館へ電話か直接来館、または申込フォームから。
【京橋図書館】講演会「デジタルアーカイブで竹本床本を読む」－中央区立図書館
<https://www.library.city.chuo.tokyo.jp/infojsessionid=2391F33AAEA8F68DB7117DEF0E6E1935?O&pid=2846>
京橋図書館 中央区新富1-13-14/電話:03-3551-2151

■2月資料紹介「今月の芝居から」

ブックトラックでの資料紹介「今月の芝居から」は、歌舞伎座などで上演中の公演作品にちなんだ図書やプログラムなどを手にとってご覧いただけるコーナーです。

令和7年2月の資料紹介「今月の芝居から」は、歌舞伎座と新橋演舞場公演の関連資料をご紹介します。

2月歌舞伎座は、松竹創業百三十周年「猿若祭二月大歌舞伎」として開催されました。猿若祭は寛永元(1624)年に初代猿若(中村)勘三郎が猿若座(後の中村座)の櫓をあげ、江戸で初めて歌舞伎興行を創始したことを記念して始まりました。この公演にちなみ、初開催の昭和51(1976)年4月からこれまでの猿若祭プログラムを揃えました。また今回、中村勘九郎が大河ドラマ「べらぼう」で話題の蔦屋重三郎を演じた『きらら浮世伝』は、十八世中村勘三郎(当時勘九郎)主演で昭和63(1988)年3月銀座セゾン劇場にて初演された舞台の歌舞伎化作品でした。初演時の台本やプログラム、舞台写真掲載誌などは大好評で、たくさんの方にご来館いただきました。

新橋演舞場は「二月新派喜劇公演 三婆」。有吉佐和子原作『三婆』上演にちなみ、昭和48(1973)年7月芸術座初演プログラムなどを展示し、『ふるあめりかに袖はぬらさじ』、『華岡青洲の妻』など数多くの舞台作品を遺した有吉佐和子の上演作品を特集いたしました。

展示期間は終了いたしました。資料はいつでも閲覧いただけますので、ぜひお気軽にご来館ください。お待ちしております！



ブックトラック展示



『きらら浮世伝』昭和63(1988)年3月
銀座セゾン劇場上演台本、プログラム

開催期間: 令和7(2025)年2/3～2/26 平日:10～17時
(休館日:土日祝日)
開催場所: (公財)松竹大谷図書館 閲覧室 / 入館無料

■松竹大谷図書館デジタルアーカイブを活用した松竹創業百三十周年歌舞伎座チラシ

松竹創業百三十周年を記念した歌舞伎座チラシデザインに、当館デジタルアーカイブより、昭和期に皆さまに親しまれた戦前の歌舞伎座筋書の表紙画像が使用されています。

「三月大歌舞伎」は、三大名作一挙上演の第一弾として、通し狂言『仮名手本忠臣蔵』が上演されます。

3月のチラシは昭和11（1936）年3月に、歌舞伎座で『仮名手本忠臣蔵』を上演した際の筋書の表紙を活用したオマージュデザインとなっております。

4月は、昭和2年4月歌舞伎座の筋書表紙画像を活用しています。桜と貝合わせが華やかな春らしいデザインです。

当館のデジタルアーカイブ「芝居番付検索閲覧システム」は、クラウドファンディングのご支援により芝居番付や筋書などをデジタル化し、webで公開したものです。

表紙に使用されている筋書など、戦前の歌舞伎座筋書が全ページご覧いただけますので、ぜひご覧ください！

松竹大谷図書館ホームページ デジタルアーカイブはこちら
<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/digital-archive/>



令和7年3月歌舞伎座チラシ



令和7年4月歌舞伎座仮チラシ



昭和11年3月歌舞伎座筋書表紙
表紙絵：鳥居言人（清忠）



昭和2年4月歌舞伎座筋書表紙

■所蔵資料紹介 [18]—『仮名手本忠臣蔵』台本・プログラム—

松竹大谷図書館の所蔵資料を写真と共にご紹介するコーナー「所蔵資料紹介」。今回ご紹介する資料は『仮名手本忠臣蔵』の台本とプログラムです。

今月3月に歌舞伎座にて上演中の、三大義太夫狂言のひとつである『仮名手本忠臣蔵』。歌舞伎座での通し上演は実に12年振りとなります。前回の上演は平成25(2013)年で、新開場柿茸落公演として11月、12月の二か月連続で、月替わりの配役で上演されました。写真は、その上演の時の台本とプログラムです。この上演以外にも、当館ではさまざまな時代に上演された『仮名手本忠臣蔵』の台本やプログラムを所蔵しております。思い出の忠臣蔵の舞台を探してみたいかでしょうか。

台本及び関連図書などは、当館HP「資料検索」にて検索可能です。
<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>



『仮名手本忠臣蔵』台本・歌舞伎座プログラム
上：平成25年11月、下：平成25年12月

新着資料案内

(ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系1月演劇公演資料◆		○ … 受入済み			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『寿曾我対面』	○	○		
	『陰陽師 大百足退治』	○	○		
	『陰陽師 鉄輪』	○	○		
	『恋飛脚大和往来 封印切』	○	○	○	○
	『一谷嫩軍記 熊谷陣屋』	○	○		
	『二人椀久』		○		
新橋演舞場	『双仮名手本三升 裏表忠臣蔵』	○		○	○
	『絵本太功記 尼ヶ崎閑居の場』	○			
浅草公会堂	『道行旅路の花罨 落人』	○		○	○
	『春調娘七種』	○			
	『棒しばり』	○			
三越劇場	『おちか奮闘記』	○		○	○
松竹座	『口上』				
	『地唄 残月』			○	○
	『長崎十二景』	○			
	『於染久松色読販 土手のお六 鬼門の喜兵衛』	○		○	○
南座	『神田祭』				
	『春の夢 嗚呼！恋は勘違い』	○		○	○
	『淡路島 温泉町値上がり中』	○			
南座	『PSYCHO-PASS サイコパス 京都南座 歌舞伎ノ館』	○		○	

◆松竹系2月演劇公演資料◆		○ … 受入済み			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『其佛対編笠 鞆當』	○	○		
	『醍醐の花見』	○	○		
	『きらら浮世伝』	○	○		
	『壇浦兜軍記 阿古屋』	○	○	○	○
	『江島生島』	○	○		
新橋演舞場	『人情断文七元結』	○	○		
	『三婆』	○		○	○
松竹座	『浪人街』			○	○
	『本朝廿四孝 十種香』	○			
	『恋飛脚大和往来 封印切』	○		○	○
	『幸助餅』	○			
オリックス劇場	『義経千本桜』	○			
	『SEIMEI』	○			
南座	『三婆』	○		○	○
博多座	『籠の森に棲む鬼』	○		○	○

エプログラム/演劇集団キャラメルボックス『ミスター・ムーンライト』サンシャイン劇場プログラム/シス・カンパニー『桜の園』世田谷パブリックシアタープログラム/『百華彩鳳の舞 風花に遊ぶ』国立能楽堂プログラム/二兎社『こんばんは、父さん』俳優座劇場プログラム/『ミュージカル レ・ミゼラブル』帝国劇場プログラム/『CONCERT THE BEST New HISTORY COMING』帝国劇場プログラム/『ミュージカル ケイン&アベル』シアターオーブプログラム/『自衛軍 The White Guard』新国立劇場中劇場プログラム/ピアノと物語『新作トロイメライ/ジョルジュ』座・高円寺1プログラム/『尾上 紫りサイタル=花』セルリアンタワー能楽堂プログラム/ユニ・ダールー人芝居『痕跡 スヴァールバル諸島 Spor-Svalbard』シアターXプログラム/劇団俳優座『教育』俳優座スタジオプログラム、台本/劇団民『八月の鯨』紀伊國屋サザンシアタープログラム、台本/椿組『キネマの大地 さよならなんて、僕は言わない』シアタートッププログラム/JACROW『おどる葉牡丹』座・高円寺1プログラム/ジェイ・クリップワークショップ『浴室』サンモールスタジオプログラム/ONEOR8『誕生の日』ザ・スズナリプログラム/た組『ドードーが落下する』神奈川芸術劇場大スタジオプログラム/中村芝翫監修 第2回新たな歌舞伎への挑戦『市川高麗蔵・中村松江引窓に挑む』鶴めいホールプログラム/『国立劇場第336回新春歌舞伎公演』新国立劇場中劇場プログラム、台本/『国立劇場第210回邦楽公演』よみうり大手町ホールプログラム

◆映画資料◆(順不同)『366日』ポスター、プレス、パンフレット/『劇場版プロジェクトセカイ 壊れたセカイと歌えないミク』ポスター、パンフレット/『雪の花 ともに在りて』ポスター、プレス、パンフレット、台本/『遺書、公開。』パンフレット

◆映画パンフレット◆(順不同)『アンデッド/愛しき者の不在』『サンセット・サンライズ』『喰う蟲』『ザ・ルーム・ネクスト・ドア』『ボルテスV レガシー』『BLUE FIGHT 蒼き若者たちのプレイキングダウン』『花と兵隊』『ドライブ・イン・マンハッタン』『SKINAMARINK スキナマリク』『書かれた顔』『デュオ 1/2のピアニスト』『TOUCH タッチ』『グランメゾン・パリ』『ソニック×シャドウ TOKYO MISSION』『劇映画 孤独のグルメ』『エマニエル』『満ち足りた家族』『アブレンティス：ドナルド・トランプの創り方』『アンダーニンジャ』『野生の島のロズ』『ファーストキス 1ST KISS』『ANORA アノラ』『知らないカノジョ』『ブルータリスト』『ゆきてかへらぬ』『僕らは人生で一回だけ魔法が使える』『ヒブノシスマイク Division Rap Battle』『ファイアブランド ヘンリー8世最後の妻』『聖なるイチジクの種』『劇場版 トリリオンゲーム』『キャプテン・アメリカ：ブレイブ・ニュー・ワールド』『ナショナル・シアター・ライブ2016 ハムレット』『ナショナル・シアター・ライブ2018 エンジェルス・イン・アメリカ 第一部 至福千年紀が近づく/第二部 ベレストロイカ』『ナショナル・シアター・ライブ2018 イェルマ』『ナショナル・シアター・ライブ2023 るつぼ』

◆演劇雑誌◆(順不同)『Confetti』2025年February, March/『JPL』No. 95/『SAKURA TIMES』Vol. 49/『あぜくら』2025年1月号, 2月号/『えんぶ』51号/『ほうおう』2025年3月号, 4月号/『ミュージカル』2025年1月-2月号/『ヨーロッパ通信』21号/『ラ・アルプ』2025年2月号, 3月号/『喝采』2025年5月, 6月/『劇評』第34号, 第35号/『大向う』令和7年2月号/『日本照明協会誌』2025年1月号, 2月号/『日本舞踊』77巻2月号, 3月号/『悲劇喜劇』2025年3月号/『文化座』204号

◆映画雑誌◆(順不同)『FLIX』2025年2月号, 4月号/『J movie magazine』Vol. 111-Vol. 114/『NFAJニューズレター』2025年1月-3月号/『NFAJプログラム』No. 61, No. 62/『SCREEN』2025年3月号, 4月号/『TVガイド』2025年1/10号, 1/17号, 1/24号, 1/31号, 2/7号, 2/14号, 2/21号, 2/28号/『おとなのデジタルTVナビ』2025年3月号, 4月号/『キネマ旬報』2025年1月号増刊キネマ旬報NEXT Vol. 60, 2月号, 2月号増刊2024年キネマ旬報ベスト・テン発表号, 3月号/『シナリオ』2025年3月号, 4月号/『シナリオ教室』2025年2月号, 3月号/『ドラマ』2025年2月号, 3月号/『ピクトアップ』2025年4月号/『ムービー・スター』2025年2月号/『ロケーションジャパン』2025年2月号/『映画テレビ技術』2025年2月号/『映画芸術』490号/『映画撮影』No. 242/『映画時報』2024年12月号, 2025年1月号/『映画秘宝』2025年2月号-4月号/『視聴覚物語芸術研究』1号/『日経エンタテインメント!』2025年2月号, 3月号/『熱風』206号/『文化通信ジャーナル』2025年2月号, 3月号

◆他社演劇公演資料 (2024年11月-2025年2月) ◆(順不同)serial number『YES MEANS YES』ザ・スズナリプログラム/くによし組『ケレン・ヘラー』シアタートラムプログラム/ハイバイ『て』本多劇場プログラム/城山羊の会『平和によるうしろめたさの為の』下北沢小劇場B1プログラム/贅沢貧乏『おわるのをまっている』シアタートラムプログラム/レイジーボーンズ『リフレクション』下北沢小劇場楽園プログラム/朗読活劇『信長を殺した男 2024』博品館劇場プログラム/劇団TEAM-ODAC朗読活劇『舞台・破天荒フェニックス2024』博品館劇場プログラム/『ミュージカルnext to normal』シアタークリ

新規登録資料案内 (順不同)

新しく受入れた資料をご案内いたします

『「男はつらいよ」50年をたどる。』『いま、幸せかい？「寅さん」からの言葉』『寅さんの「日本」を歩く3 さらに詳しい聖地探訪大事典』『寅さんの「日本」を歩く[1] 一番詳しい聖地探訪大事典 増補新装版』『男はつらいよ寅さんの人生語録 改』『風俗江戸物語』『歌劇2015-2019』『Face ALL Stars Profile 2024』『越中富山の浄瑠璃文化』『随筆上方芸能ノート 落語・漫才・興行』『シェイクスピアへの旅』『芸の秘密』『十五代目市村羽左衛門 名優アルバム』『すぐそばにある。働きすぎのパパのおはなし』『市川海老蔵』『キネマ旬報の100年』『博多・劇場五〇年のあゆみ』『世界の喜劇人 決定版』『石原裕次郎・渡哲也石原プロモーション50年史 1963-2013』『八十年の散歩』『描く人、安彦良和』『ライブ・エンタテインメント白書2022 レポート編』『音事協50年の歩み 創立50周年』『ミュージカル グレート・ギャツビー 月組』『堀尾幸男 舞台美術の記憶 早』『劇場等演出空間の運用および安全に関するガイドライン 公演に携わるすべての人々に』『こども歌舞伎スクール寺子屋十周年記念冊子』『歌舞伎年鑑 上演記録 2023年』『あやめ抄伝 元禄歌舞伎の名優芳澤あやめ三都に舞ふ 京・大坂・江戸』

郎・渡哲也石原プロモーション50年史 1963-2013』『八十年の散歩』『描く人、安彦良和』『ライブ・エンタテインメント白書2022 レポート編』『音事協50年の歩み 創立50周年』『ミュージカル グレート・ギャツビー 月組』『堀尾幸男 舞台美術の記憶 早』『劇場等演出空間の運用および安全に関するガイドライン 公演に携わるすべての人々に』『こども歌舞伎スクール寺子屋十周年記念冊子』『歌舞伎年鑑 上演記録 2023年』『あやめ抄伝 元禄歌舞伎の名優芳澤あやめ三都に舞ふ 京・大坂・江戸』

資料提供 (2025年1~2月)

※許可を得た方のみ掲載しております

[展示]「企画展：KABUKI MUSEUM 2025 What is KABUKI？」2025年1月16日～2月16日（一部会期延長あり）歌舞伎座ギャラリー 海外公演資料を提供

[出版]『歌舞伎特選DVDコレクション第141号』2025年1月8日アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に「紅白梅図（六世歌右衛門楽屋の欄間）」を提供／『歌舞伎特選DVDコレクション第143号』2025年2月5日アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に「水原秋桜子自筆俳句「素襖落」」を提供／浅野久枝『越境する歌舞伎 戦前・戦後の小芝居と女役者』2025年2月20日春風社 『劇友』を提供／『義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集（第八期）』2025年2月25日玉川大学出版部 浄瑠璃正本『今川本領猫魔館』を提供

[プログラム掲載]「松竹創業百三十周年 猿若祭二月大歌舞伎」2025年2月歌舞伎座 「かふきのさうし」と第1回猿若祭ポスターを提供

[その他]歌舞伎座「松竹創業百三十周年 猿若祭二月大歌舞伎」本チラシ・歌舞伎美人等に昭和9年2月歌舞伎座筋書を提供／歌舞伎座「松竹創業百三十周年 三月大歌舞伎」仮チラシ・本チラシ・歌舞伎美人等に昭和11年3月歌舞伎座筋書を提供／歌舞伎座「松竹創業百三十周年 四月大歌舞伎」仮チラシ・歌舞伎美人等に昭和2年4月歌舞伎座筋書を提供／映画「ゆきてかへらぬ」2025年2月21日公開 戦前映画台本を参考として提供

新たに資料をご寄贈くださった方々

(敬称略・順不同/2025年1月まで)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、日本映画テレビプロデューサー協会、ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ、シアタークリエ、文学座、協同組合日本シナリオ作家協会、株式会社日本舞踊社、シナリオ・センター、一般社団法人日本映画製作者連盟、企業メセナ協議会、銀座 博品館劇場、榎松大剛、国立劇場、劇団民藝、帝国劇場、丸善雄松堂株式会社、志田一穂、若林さだ吉、松本和子、有限会社合同通信社、公益社団法人日本照明家協会、おとなのデジタルTVナビ編集部、古井戸秀夫、株式会社カモミール社テアトロ編集部、開志専門職大学 アニメ・マンガ学部紀要編集委員会、キネマ旬報社、劇団鋼籬、国立映画アーカイブ、株式会社OSK日本歌劇団、公益社団法人日本演劇興行協会、清元美多郎、東宝株式会社ライツ事業部、(株)近代映画社、博物館明治村、安孫子正、若獅子会 笠原章、株式会社セクターエイティエイトKENSYO編集部、玉川大学教育博物館、特定非営利活動法人 国際人形劇連盟日本センター、銀座百店会、公益社団法人日本劇団協議会、無声映画鑑賞会、人形劇団プーク、公益財団法人日本近代文学館、松岡亮、有限会社 三月書房、ポール・グリフィス、明治座、東京都江戸東京博物館、劇団青年座

どうもありがとうございました

令和六年度 第53回「大谷竹次郎賞」に関してのご報告

令和六年度 第53回「大谷竹次郎賞」は選考の結果、該当作品なしと決定いたしましたので、ご報告申し上げます。

大谷竹次郎賞は、毎年1月より12月までの公演で、松竹系のみならず、歌舞伎俳優によって上演された新作の歌舞伎及び歌舞伎舞踊の脚本を対象とし、娯楽性に富んだ優れた歌舞伎脚本に贈る賞です。昭和47(1972)年2月14日から始まり、令和五年度で52回目を迎えました。毎年、大谷竹次郎(松竹株式会社創業者のひとり)の誕生日、12月13日にあわせて発表しており(今年度は1月15日)、該当作がない場合、佳作や奨励賞(新人対象)を贈る場合もあります。当館からは副賞として受賞者に松竹大谷図書館賞の記念レリーフ(荒川明照氏作)を贈呈しています。

近年の受賞作は、今井豊茂氏『陰陽師 滝夜叉姫』(平成25年度 第42回)、川崎哲男氏・松岡亮氏『壽三升景清』(平成26年度 第43回)、今井豊茂氏『あらしのよるに』/横内謙介氏『スーパー歌舞伎II ワンピース』(平成27年度 第44回)、三谷幸喜氏『月光露針路日本 風雲児たち』/丹羽圭子氏・戸部和久氏『風の谷のナウシカ』(令和元年度 第48回)、竹柴潤一氏『赤穂義士外伝の内 荒川十太夫』(令和4年度 第51回)です。

これらの受賞作の台本は当館に保存されており、一般公開しておりますので、どなたでもご覧いただけます。

▼大谷竹次郎賞についてはこちら

<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/about#about>

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々(了承を得た方のみ掲載)令和7[2025]年1-2月にご支援いただきました

法人・団体 (50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館へのご来館に關しましてのお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。

随時お電話での確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認ください。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

《現在のご利用について》(※2024年7月1日改定)

- 開館時間 10:00～17:00 ※ご予約なしでご利用いただけます
- 閲覧予約サービス
閲覧席及び閲覧資料の事前予約ができますので、ぜひご利用ください。
松竹大谷図書館 03 (5550) 1694 (平日10時～17時)
- 手指消毒用のアルコールをご用意しております。

《ご予約について》

- ★10時から17時まで、毎正時より1時間単位でご利用いただけます。
- ★お名前、人数、ご希望日時(〇月〇日〇時より〇時まで)、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせください。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用いただけない場合もございます。

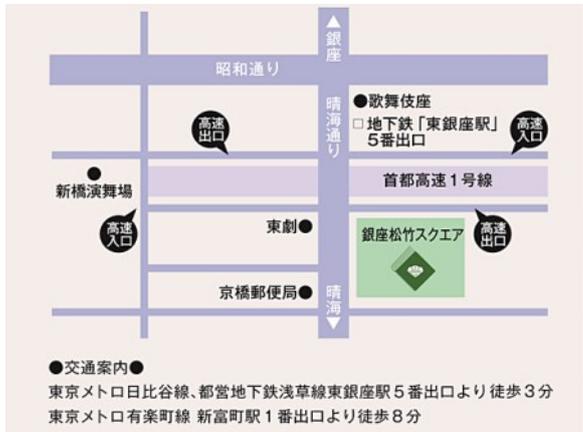
松竹大谷図書館資料検索：<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら：https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/current_usage_20240701/

春期休館のお知らせ
令和7年3月1日(土)
～3月23日(日)

「松竹大谷図書館ニュースレター」は隔月の発行となりました

2025年1月より「松竹大谷図書館ニュースレター」は、隔月(奇数月)の発行となりました。次号は5月の発行となります。



- 利用案内●[開館時間]平日10:00～17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ
- [入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担) 但し、コピー不可の資料もあります
- 資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>
- 交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分/東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

公式HP



公式Facebook



公式Instagram



公式X



編集・発行:公益財団法人 松竹大谷図書館
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階
TEL:03-5550-1694
公式HP <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>